



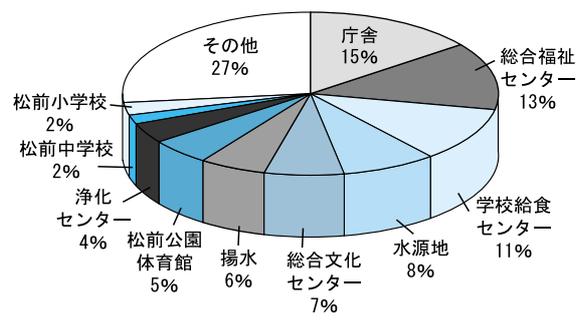
## 2 バイオマスの利活用

### ① 廃食油の利用

一般家庭などから排出される廃食油から石けんや燃料（バイオディーゼル燃料）をつくり、住民に配布したり、公用車への燃料の利用についても検討します。

### ② エネルギー作物の栽培

ひまわりの栽培・搾油を行い、油の利活用と循環型社会の啓もうに努めます。



### ③ 食品残さ・生ごみ・し尿などの利用

現在、給食センターから出る生ごみをし尿と混ぜて堆肥を作成しています。また一般家庭では生ごみ処理機やコンポストを利用してごみの削減や堆肥化が行われています。今後も生ごみの堆肥化を続けるとともに飲食店などの食品残さも含めて、町内から排出される



▲せん定枝の有効活用



▲ひまわり油の活用にむけて

## 3 各種助成制度の継続・創設

### ① 生ごみ処理機・コンポストの購入補助金の継続

現在、生ごみ処理機やコンポストの購入に対する補助金の支給を行っています。可燃ごみの減量化は、化石燃料消費削減や温室効果ガス排出量の抑制に効果があり、今後もごみ減量化を目的とした補助制度を継続します。

### ② エネルギー供給事業者主導型総合省エネルギー連携推進事業の活用

エコキュートやエコウイルなど高効率給湯器の普及は省エネに効果的です。電気・ガス供給事業者と地方公共団体が共同でNEDO（独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）に申請を行う場合に、補助金（設置者は費用の2分の1負担）が支給されます。事業者と連携しながら補助制度の導入を検討します。

## 4 省エネルギー行動マニュアル・環境家計簿の普及

省エネルギー行動などの必要性を示した「省エネルギー行動マニュアル」や「環境家計簿」を作成し住民

## 5 省エネルギー教育の推進

省エネルギーや環境問題を意識できる人材や将来の環境リーダー育成を目指し、環境学習プログラムの学校への紹介、参加を呼び掛けます。

## 6 運輸部門対策

### ① 低公害車の普及促進

公用車の買い替え時には、クリーンエネルギー自動車や低公害車を積極的に導入するよう努めます。

### ② パークアンドライドの推進

大型商業施設内の駐車場を利用し、伊予鉄道古泉駅と連動させたパークアンドライドの導入に取り組みます。

### ③ 公共交通機関の利用促進

福祉バスの利用拡大や職員出張の際の公共交通機関の利用促進に努めます。

### ④ 交通需要の低減

ノーマイカーデーの普及や自転車・徒歩での移動を呼び掛けます。

に配布することによって、省エネルギー行動への意識付けに努めます。